

低背配索材(バスバー)

開発中

2025年搭載予定

電動車の航続距離延伸、車室空間・車両デザイン性の拡大かつ可撓性のあるバスバーによる配索設計自由度の向上に貢献する低背配索製品

背景・課題

大電流化による車載部品の大型化に伴い、狭小スペースに配索可能な製品が必要となる

課題への解決・特徴

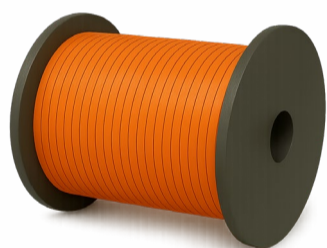
- 1 電線をバスバ化することで、約50%の低背化が可能
フープ材～製品まで一気通貫製造かつ曲げ加工によるプレス打抜きロスの削減
- 2 導体のアルミニウム化による軽量化の追求(効果:銅電線比較 約35%低減)
- 3 局所曲げ加工や高柔軟低背電線を用いることで配索設計の自由度を向上

主要性能、仕様・構造

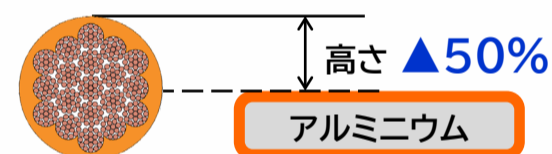
【一気通貫製造】



フープ材



曲げ加工

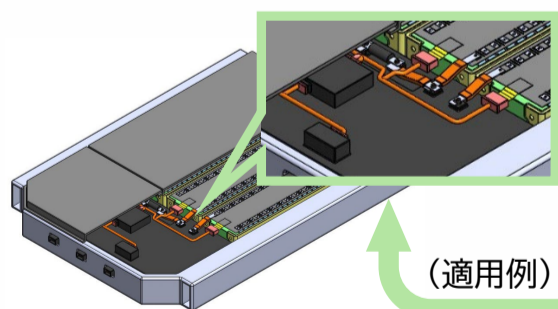


特徴

- ・材料ロスが少ない
- ・複雑な曲げ加工
- ・アルミニウム化による軽量化

バスバ

【配索設計自由度の向上】



電池パック

(適用例)

《局所曲げ加工》



特徴

- ・曲げ加工間ピッチを極小化
- ・寸法精度が高い
- ・板厚5mm以上にも対応



高柔軟低背電線



バスバ+低背電線

特徴

- ・可撓性のある低背配索部材
- ・組付け公差や車両振動等の変位を吸収
- ・バスバと組合せて使用可能

バスバの設計 / 接続 / 製造までを矢崎がトータルサポートいたします